

中山公民館 小学生英語教室が スタート

中山公民館で、小学3・4年生を対象とした英語教室「ネイティブな英語を学ぼう！」が、6月20日（土）から開講しました。

英語を使ってコミュニケーションを図る楽しさを体験し、コミュニケーション能力を養うことを目的とした事業で、年10回土曜日の午前中に実施します。

開講式では、手島中山公民館長が「楽しみながら英語を学び、外国の生活や文化の違いも学んでください」とあいさつ。また中山小学校の瀬尾教頭が、英語のスピーチを交えて児童を激励しました。



▶みんなで「ハングス・アップ」

開講式の後にはさっそく第一回の英語教室が行われ、児童たちは講師のデイビッド・ポルディーさんと一緒に行うさまざまな活動の中で、英語であいさつをしたり、外国の生活について学んだりしました。

第57回 西伯郡郡民体育大会 陸上競技で大山町大活躍！

6月から7月にかけて郡内各地で「西伯郡郡民体育大会」が開催されました。

各競技で熱戦が繰り広げられ、鳥取県民スポーツレクリエーション祭の代表の権利を獲得した個人、団体が多数ありました。

6月20日に名和総合運動公園で行われた総合開会式では、西伯郡体育協会の表彰式が行われ、昨年度各種大会で活躍された方の功績を称えました。大山町からは2つの団体と24名の個人が表彰を受けました。総合開会式後の陸上競技の部の開会式では、大山中学校3年の土岐龍生さんが力強く選手宣誓を行い、大会への意気込みを述べました。

参加選手は、町の代表として日ごろの練習の成果を発揮し、熱気あふれる大会となりました。



▲中学生の部総合優勝 中山中学校

陸上競技で、大山町は一般の部で総合優勝、中学生の部では中山中学校が見事総合優勝を果たしました。

小学生から一般の部まで100M走、400Mリレー、走り高跳び、砲丸投げなどの各種目で活躍が光りました。多くの種目で上位に大山町の選手が入賞し、総合優勝の原動力となりました。

家庭教育講演会 開催！

家庭教育講演会が、6月28日（日）に大山農村環境改善センターで行われました。講師は生涯学習・社会システム研究者の三浦清一郎さん。

三浦さんは「生きる力の第一条件は抵抗力で、『体力』と『耐性』が抵抗力の基本となる。現代の子の課題は自己評価が甘過ぎて実力と我慢する力が足りず、『ストレス耐性』が低い。処方するには教育の3原則（体験原則、指導原則、練習原則）を守り、心身ともに『体得』していくことが重要」と熱く語られ、参加者はうなずきながら、講演に耳を傾けました。



▲エネルギッシュな三浦さんの講演